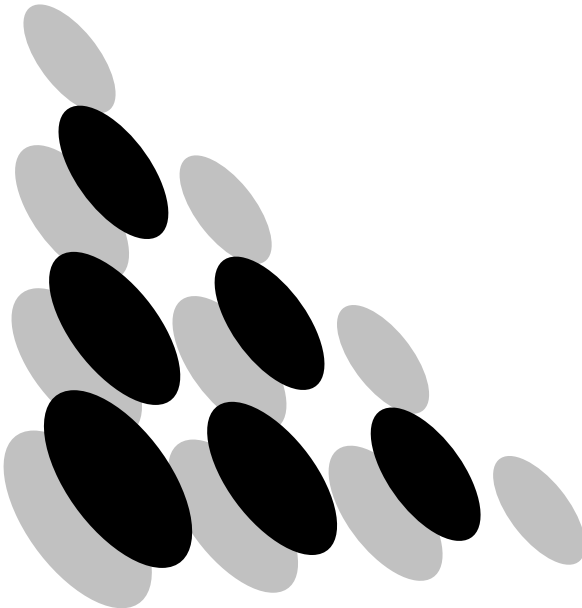


FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

FMV-LIFEBOOK

ワイヤレス LAN をお使いになる方へ



はじめに

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、ワイヤレス LAN をお使いになるための設定について説明しています。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2002 年 1 月

Microsoft および Windows、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright® FUJITSU LIMITED 2002

お客様へのお知らせ

■ ワイヤレス・インタオペラビリティ

本装置は、直接スペクトラム拡散方式（DS-SS：Direct Sequence Spread Spectrum）無線テクノロジーを基礎とするワイヤレス LAN 製品との相互通信システムの協調を実現するように設計されています。また、ワイヤレス LAN 製品の相互接続性を検証する「WECA（Wireless Ethernet Compatibility Alliance）」が定義する、ワイヤレス LAN 標準の「Wi-Fi」に準拠しております。

■ 電波放射の環境への影響

本装置は、他の高周波デバイス同様に、高周波電磁エネルギーを放出していますが、本装置が放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。

本装置は、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本装置の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。

ある状況や環境において、本装置の使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記に挙げる場合です。

- ・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用

特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確に分からない場合は、機器の電源を入れる前に本装置の使用許可について問い合わせをしてください。

■ 電波放射の人体への影響

本装置から放射される出力パワーは、FCC 電波放射限界よりはるかに低くなっています。それでも、本装置は、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中は本装置のアンテナ部分に極力触れないでください。

■ 干渉に関する注意事項

本装置は、高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射します。

本書に従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。

本装置がラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本装置の電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。

- ・ 本装置と受信機の距離を離す
- ・ 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントに本装置を接続する
- ・ 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する

本装置の不正な改造は行わないでください。

本装置の不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。

他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してお使いください。

この機器の使用上の注意



- ・ 上記表示のある無線機器は 2.4GHz を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 40m です。
- ・ この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他のワイヤレス LAN システム、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
 - 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
 - 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお申しつけください。

■ 認定番号について

本装置は、電波法、および電気通信事業法による技術基準認定を取得している、次の認定番号の機器を内蔵しています。

認定番号	A01-0994JP 01NYDA1083
------	--------------------------

■ 製品などの呼び方について

本書では、製品名称などを次のように略して表記しています。

正式名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition、および Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows® 98 Operating System SECOND EDITION	Windows 98	
Windows XP、Windows 2000 および Windows 98 の 総称	Windows	
ワイヤレス LAN カード FMV-W181	FMV-W181	
ワイヤレス LAN カード FMV-W182	FMV-W182	
ワイヤレス LAN カード FMV-JW181	FMV-JW181	
ワイヤレス LAN カード FMV-JW182	FMV-JW182	
ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201	FMWT-201	ステーション
ワイヤレス LAN ステーション FMWT-501	FMWT-501	
TA 機能付ネットワークステーション FMNS-101 および無線 LAN キット FMNS-WL1 の組み合わせ	FMNS-101+FMNS- WL1	
ワイヤレスブロードバンドルータ FMWBR-101	FMWBR-101	
FMV-6800MG/WL、FMV-270LS/WL	本装置またはパソコン本体	



■ 画面例について

本書に表記されている画面は一例です。お使いの機種やディスク、データの種類によって、画面の一部やファイル名などが若干異なる場合があります。ご了承ください。




安全上のご注意 必ずお守りください

■ 安全にお使いいただくための絵記号について











このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは装置を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。



- 

 ・本装置をお客様ご自身で分解・改造しないでください。感電・火災の原因となります。
- 
 ・台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所で本装置を使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 
 ・風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で本装置を使用しないでください。感電・火災の原因になります。
- 
 ・本装置に水をかけたり、濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。
- 
 ・本装置の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器や、「クリップ・ピン」などの金属物を置かないでください。感電・火災の原因となります。
- 
 ・病院内や医療用電気機器のある場所では、本装置の電波を停止してください。（手術室、集中治療室、CCU ※¹等には持ち込まないでください。）本装置からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
※¹：CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。
- 
 ・心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 
 ・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では、本装置の電波を停止するか、パソコン本体の電源を切ってください。爆発や火災の原因となります。
- 
 ・自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。本装置からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。



注意



けが
・ 振動の激しい場所や傾いた場所等など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



けが
・ 本装置の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。






発火
・ 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。高熱によって加熱・変形・溶解する原因となったり、本装置内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



けが
・ CD-ROM をセットするとき、および取り出すときには、トレーに指などを入れしないでください。けがの原因となることがあります。

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。

目次

はじめに	1
お客様へのお知らせ	1
安全上のご注意 必ずお守りください	3

第 1 章 お使いになる前に

1 概要	10
本装置の特長	10
本装置を使用したワイヤレス LAN ネットワーク	10
ワイヤレス LAN 接続のための動作環境	12
複数の LAN デバイスのご利用について	13
正常に通信が行えない場合について	13
電波を停止する	13
他のワイヤレス LAN 機器と接続していない場合について	15

第 2 章 Windows XP での接続

1 作業の流れ	18
2 ワイヤレス LAN 接続のための準備	19
パラメータを設定する	19
3 ネットワークへの接続	26
ネットワークの設定をする	26
共有設定をする	29
接続確認をする	34

第 3 章 Windows 2000/98 での接続

1 作業の流れ	38
2 ワイヤレス LAN 接続のための準備	39
パラメータを設定する	39
3 ネットワークへの接続 (Windows 2000)	44
ネットワークの設定をする	44
共有設定をする	47
接続確認をする	50
4 ネットワークへの接続 (Windows 98)	53
ネットワークの設定をする	53
共有設定をする	56
接続確認をする	59

第4章 付 録

1 困ったときは・・・	62
デバイスマネージャの画面で、ワイヤレス LAN に「！」マークや 「×」マークがついている	62
ネットワークに接続できない	62
PING コマンドを実行して、接続確認をしたい	66
2 用語集	67
3 IP アドレスについて	70

1

第 1 章

お使いになる前に

本装置をお使いになる前に、必ずお読みください。

1 概要	10
------------	----

1 概要

ここでは、本装置の特長、および本装置でできることを説明します。

本装置の特長

主な特長は、次のとおりです。

- ・ 2.4GHz 帯の小電力通信システムを使用しているため、無線免許が不要です。
- ・ ノイズに強い直接スペクトラム拡散方式 (DS-SS) を採用しています。
- ・ Wi-Fi に準拠し、無線上で通信速度最大 11Mbps の通信が可能です。
- ・ 推奨する通信距離は、屋内 25m です。ただし、設置環境 (壁や柱などの影響) により短くなる場合があります。
- ・ ネットワーク名 (SSID) およびネットワークキーにより、部外者による侵入を防ぐことができます。

本装置を使用したワイヤレス LAN ネットワーク

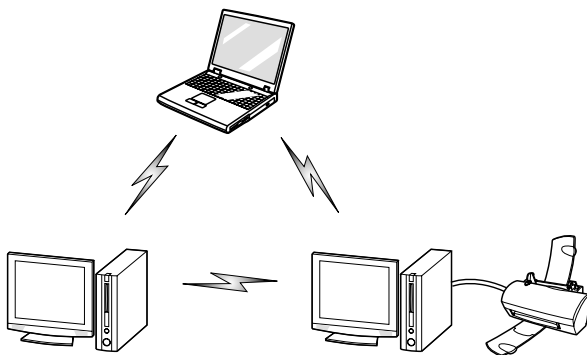
本装置で接続できるワイヤレス LAN ネットワークには、「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」と「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」のふたつがあります。それぞれのネットワークについて説明します。

■ アドホックワイヤレス LAN ネットワーク

ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコン同士のネットワークを、「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」といい、この場合の接続方法を「アドホック接続」といいます。アドホックワイヤレス LAN ネットワークでは、Microsoft ネットワークがサポートする「ファイルとプリンタの共有」などの機能を利用して、ファイル交換や、プリンタの共有ができます。

アドホックワイヤレス LAN ネットワークを利用するためには、接続するすべてのパソコンのネットワーク名 (SSID) とネットワークキーを、同じ設定にします。ワイヤレス LAN 接続に使用するチャンネルの設定がある場合は、チャンネルも同じ設定にします。通信を行うパソコン同士が、お互いの通信可能範囲内にあれば通信ができます。アドホック接続によって、簡単に低コストのネットワーク接続が実現できます。

次の図は、アドホックワイヤレス LAN ネットワークの接続例です。

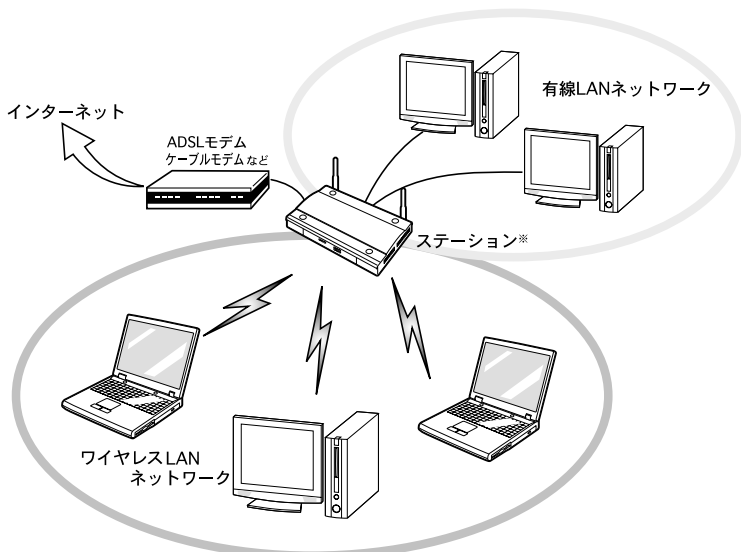


■インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク

ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコンを、有線 LAN に接続したり、ブロードバンドインターネットに接続したりする場合は、別売のステーションを利用します。ステーションを利用するワイヤレス LAN ネットワークを、「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」といい、この場合の接続方法を「インフラストラクチャ接続」といいます。

ステーションについての詳細は、ステーションのマニュアルをご覧ください。

次の図は、ステーションを使って、ワイヤレス LAN ネットワークを有線 LAN ネットワークに接続した場合の接続例です。



※：ステーションによっては、別途有線ネットワーク用のハブが必要な場合があります。

ワイヤレス LAN 接続のための動作環境

■ アドホック接続の場合

次のワイヤレス LAN カードを搭載したパソコンとのアドホック接続が可能です。

その他のワイヤレス LAN カードとの接続については、それぞれのワイヤレス LAN カードのマニュアルをご覧ください。

- FMV-W181
- FMV-W182
- FMV-JW181
- FMV-JW182

また、次の機種とのアドホック接続が可能です。

- FMV-6800MG/WL
- FMV-270LS/WL

重要

- ▶ FMV-W181 および FMV-JW181 ワイヤレス LAN カードを搭載したパソコンとアドホック接続を行う場合、通信速度が低下する場合があります。

■ インフラストラクチャ接続の場合

次のステーションを使用した、インフラストラクチャ接続が可能です。

ステーションのご利用については、それぞれのステーションのマニュアルをご覧ください。

- FMWT-201
- FMWT-501
- FMNS-101+FMNS-WL1 (Windows 2000/98 モデルのみ)
- FMWBR-101

重要

- ▶ FMWT-201、FMWT-501またはFMNS-101+FMNS-WL1を使用してインフラストラクチャ接続を行う場合、それぞれのステーションのマニュアルに記載されている「ワイヤレス LAN カードの設定」は、FMV-W181、または FMV-JW181 を使用する場合の設定です。本装置をお使いになる場合、これらの設定を行わないでください。

- FMWT-201 をお使いの場合
 - 『ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201 取扱説明書』
 - 該当箇所
 - 「2.1 Client Manager をインストールする」
 - 「2.3 ワイヤレス LAN カードのパラメータを設定する」
- FMWT-501 をお使いの場合
 - 『ワイヤレス LAN ステーション FMWT-501 取扱説明書』
 - 該当箇所
 - 「2.1 Client Manager をインストールする」
 - 「2.3 ワイヤレス LAN カードのパラメータを設定する」
- FMNS-101+FMNS-WL1 をお使いの場合
 - 『TA 機能付きネットステーション (FMNS-101) 取り扱い説明書』
 - 該当箇所
 - 「4.2.1 ワイヤレス LAN カードのパラメータ設定」

▶本装置と、FMWT-201の組み合わせで、電話回線を使用してインターネットに接続することはできません。ADSL (PPPoE) 回線を使用してインターネットに接続する場合は、ステーション設定ツールのISPの設定画面の「Connection」を「Automatic」に設定してください。ステーション設定ツールについては、FMWT-201のマニュアルをご覧ください。

複数の LAN デバイスのご利用について

Windows 2000/98 の場合、複数の LAN デバイスのご利用できません。他の LAN デバイスを取り付けないでください。

正常に通信が行えない場合について

- ・複数のパソコンでワイヤレス LAN 接続を行う場合、データ量が大きなファイルのコピーなどを複数のパソコンで同時に行うと、電波の状態が悪くなります。そのため、ワイヤレス LAN 接続を行っているパソコンが、正常に通信が行えないことがあります。この場合、通信が終了するのを待ってから、パソコンを再起動してください。このような現象が頻繁に起こる場合は、ネットワーク名 (SSID) や、チャンネルを変更してください。
- ・電波の状態によっては、パソコンの電源を入れたときや省電力状態から復帰したときに、正常に通信が行えないことがあります。この場合、パソコンを再起動するか、一度省電力状態にしてから元の状態に戻してください。

電波を停止する

病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめワイヤレス LAN の電波を停止してください。

1 次のように操作します。

- ・ Windows XP の場合、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。
- ・ Windows 2000/98 の場合、「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。
「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 「リンク」タブをクリックします。

3 「RF オフ」をクリックします。

- ・ Windows XP の場合



- ・ Windows 2000/98 の場合



ボタンが「RF オン」になり、ワイヤレス LAN の電波を停止します。

POINT

- ▶ 電波の停止中に「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。
- ▶ 一度電波を停止した後に、他のワイヤレス LAN 機器と接続する場合は、「RF オン」をクリックしてから、再起動してください。

他のワイヤレス LAN 機器と接続していない場合について

本装置は、ご購入時に電波を発信する設定になっています。電波を発信している状態で、他のワイヤレス LAN 機器と接続していないと、次のようになる場合があります。

- ・ CD・DVD などの再生時や TV の視聴時に、音飛びや映像のコマ落ちなどが発生する
- ・ 内蔵モデムの通信速度が遅くなる

この場合、次のようにしてください。

1 ドライバをアップデートします。

アップデート方法は、「ドライバズ CD」内の「update¥wlan¥xp¥install.txt」をご覧くださいになり、「2. 更新インストール手順」に従って操作してください。

2 電源を停止します。

設定方法は、「電波を停止する」(●▶ P.13)をご覧ください。

2

第 2 章

Windows XP での接続

Windows XP がインストールされたパソコンで、ワイヤレス LAN 接続をするための設定を行います。

Windows 2000/98 をお使いの場合は、「Windows 2000/98 での接続」(▶▶ P.37)をご覧ください。

1 作業の流れ	18
2 ワイヤレス LAN 接続のための準備	19
3 ネットワークへの接続	26

1 作業の流れ

本装置を使って、ワイヤレス LAN 接続を行う手順は、次のとおりです。

1 ワイヤレス LAN 接続に必要なパラメータを設定します。

1. ワイヤレス LAN ネットワーク環境の設定
2. 通信データを暗号化するための設定

「パラメータを設定する」(●▶ P.19)

2 ネットワーク接続の設定をします。

1. プロトコルの設定とネットワークの確認
2. ファイルやプリンタの共有設定
3. ステーション側の設定 (インフラストラクチャ接続の場合)
ステーションのマニュアルをご覧ください。
4. 接続確認

「ネットワークへの接続」(●▶ P.26)

2 ワイヤレス LAN 接続のための準備

本装置を利用するために必要な準備（パラメータの設定）について説明します。

パラメータを設定する

ワイヤレス LAN 接続を行うために必要な、ネットワーク名（SSID）、ネットワークキーなどを設定します。ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

POINT

- ▶ チャンネル（周波数帯）を設定する必要はありません。接続しようとするワイヤレス LAN ネットワークで使用しているチャンネルを自動的に検知し、そのチャンネルで通信します。本装置同士で、新規にアドホックワイヤレス LAN ネットワークを構築する場合は、チャンネル 11 固定となります。
- ▶ チャンネルの変更が必要な場合は、ステーション側で設定してください。設定方法については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

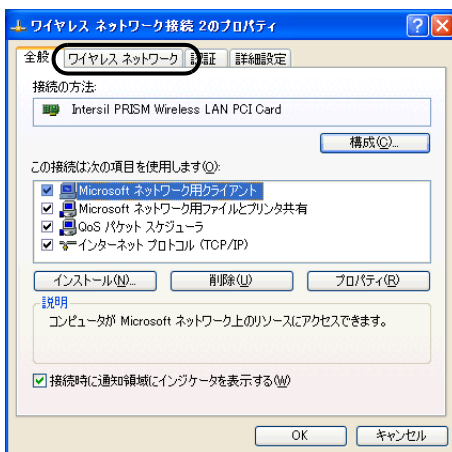
3 「ネットワーク接続」をクリックします。

現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4 一覧から「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

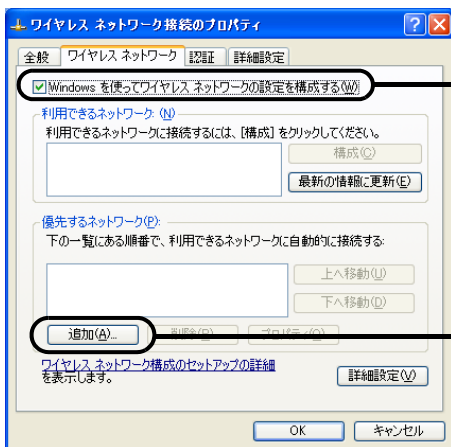
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

5 「ワイヤレス ネットワーク」 タブをクリックします。



「ワイヤレス ネットワーク」 タブの画面が表示されます。

6 次のように操作します。



1 「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」にチェックが付いていることを確認します。

2 「優先するネットワーク」の中の「追加」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面が表示されます。

7 ワイヤレス LAN ネットワークへ接続するための情報を設定をします。

1 ネットワーク名 (SSID) を入力します。

2 「これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレス アクセスポイントを使用しない」を、接続方法に合わせてチェックを付ける、または外します。

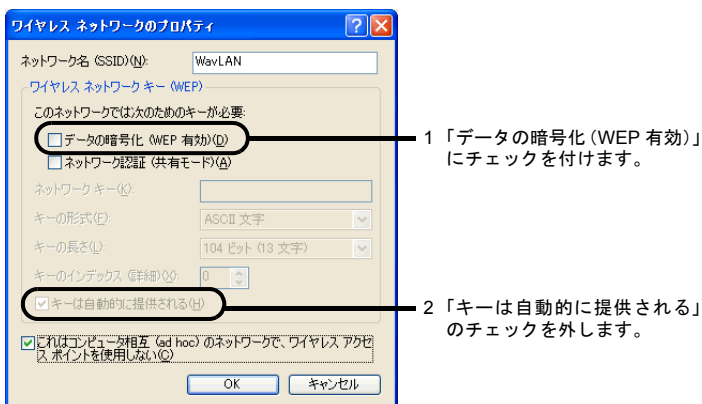
項目	説明	
ネットワーク名 (SSID)	接続したいネットワーク名を、半角英数字 32 文字以内で入力します。必ず入力してください。	
	アドホック接続の場合	接続するすべてのパソコンで、同じネットワーク名を設定します。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定の確認方法については、ステーションのマニュアルをご覧ください。
これはコンピュータ相互 (ad hoc) のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない	アドホック接続の場合	チェックを付けます。
	インフラストラクチャ接続の場合	チェックを外します。

8 通信データを暗号化するための設定をします。

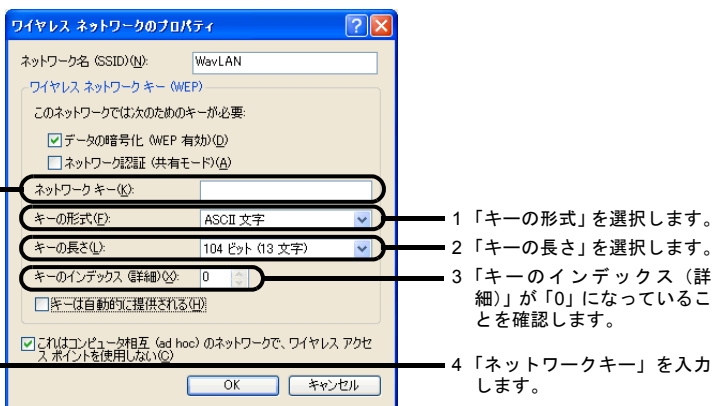
重要

▶ 通信データを暗号化するためのネットワークキーは、必ず設定してください。ネットワークキーを設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする危険性があります。

1. 次のように操作します。



2. 次のように操作します。



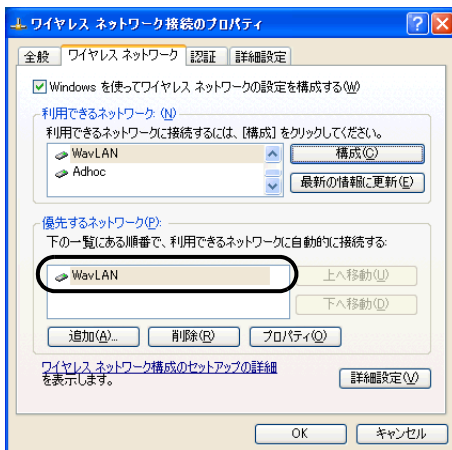
項目	説明	
キーの形式	<input checked="" type="checkbox"/> をクリックして、「ネットワークキー」の入力方法を選択します。	
	ASCII 文字	<p>「ネットワークキー」を、ASCII コードで入力する場合に選択します。通常は、「ASCII 文字」を選択してください。</p> <p>「ネットワークキー」に使用できる文字は、次のとおりです。</p> <p>0～9、A～Z、a～z、_（アンダーバー）</p> <p>入力例) ネットワークキーを「ABC12」に設定する場合、「ABC12」と入力します。</p> <p>次のパソコン、およびステーションと接続する場合は、「ASCII 文字」を選択し、「キーの長さ」で「40 ビット (5 文字)」を選択します。</p> <p>FMV-W181、FMV-JW181 を搭載したパソコン FMWT-201、FMWT-501</p>
	16 進数	<p>「ネットワークキー」を、16 進数のキャラクターコードで入力する場合に選択します。</p> <p>ネットワーク内に、ネットワークキーをキャラクターコードで設定しているワイヤレス LAN がすでにあるときに選択してください。</p> <p>「ネットワークキー」に、設定済みの他のワイヤレス LAN と同じ値を入力してください。</p> <p>「ネットワークキー」に使用できる文字は、次のとおりです。</p> <p>0～9、a～f</p> <p>入力例) ネットワークキーを 10 桁で設定する場合、「3132333f38」のように入力します。</p>
キーの長さ	<input checked="" type="checkbox"/> をクリックして、通信データの暗号化の方法を選択します。「キーの形式」の選択内容によって、表示される内容が異なります。	
	「ASCII 文字」の場合	「40 ビット (5 文字)」、または「104 ビット (13 文字)」を選択します。
	「16 進数」の場合	「40 ビット (10 桁)」、または「104 ビット (26 桁)」を選択します。
ネットワークキー	入力文字数は、「キーの長さ」に指定されている文字数、または桁数で入力してください。指定された文字数以上を入力すると、自動的にキーの形式が変更されたり、エラーになる場合があります。	
	アドホック接続の場合	接続するすべてのパソコンで、同じ値を設定してください。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定の確認方法については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

項目	説明
キーのインデックス	<input checked="" type="checkbox"/> をクリックすると、必要に応じてネットワークキーを 0～3 の 4 つまで設定できます。通常は「0」のみ設定してください。 接続するパソコンやステーションによっては、ネットワークキーの番号が本装置と異なり、1～4 になっているものがあります。その場合、本装置は「0」、接続するパソコンやステーションは「1」に設定してください。

9 入力が終わったら、「OK」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面に戻ります。

10 「優先するネットワーク」に、手順 7 で「ネットワーク名 (SSID)」に入力したネットワーク名が追加されたことを確認し、「OK」をクリックします。



POINT

- ▶ 「優先するネットワーク」に複数の設定が存在する場合、通信状態などにより希望するネットワークとは別の設定が優先される場合があります。混乱を避けるために、接続したい設定のみを登録することをお勧めします。
- ▶ ネットワーク設定画面で、「最新の情報に更新」ボタンを押さないでください。通信が正常に行えなくなる場合があります。ボタンを押した場合は、パソコンを再起動してください。

11 「ネットワーク接続」画面を閉じます。

12 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。

13 「再起動」をクリックします。

本装置が再起動します。

以上で、パラメータの設定は終了です。

POINT

▶ インフラストラクチャ接続で、ADSL (PPPoE) を使用してインターネットに接続する場合は、本装置の MTU サイズ (**▶ P.68) を変更する必要があります。

詳しくは、ステーションのマニュアルをご覧ください。

引き続き、ネットワークに接続するための設定を行います。そのまま、「ネットワークへの接続」 (**▶ P.26) へお進みください。

3 ネットワークへの接続

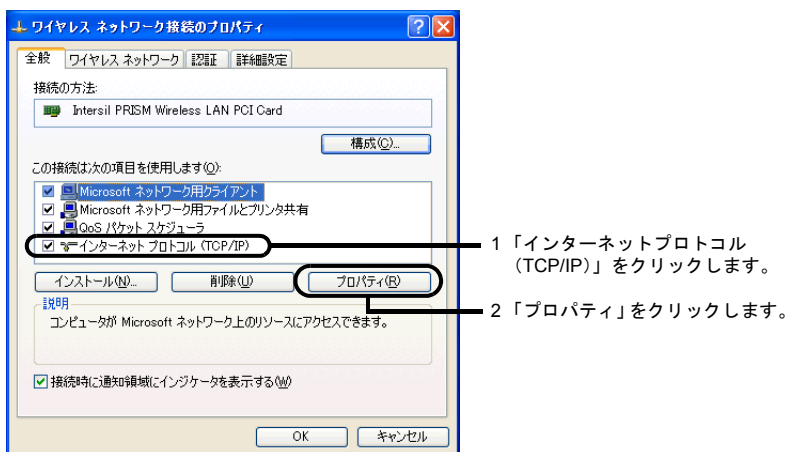
Windows XP がインストールされたパソコンで、ネットワークに接続する方法について説明します。
ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークの設定をする

ネットワークの接続に必要な、「TCP/IP の設定」と「フル コンピュータ名、ワークグループの確認」を行います。

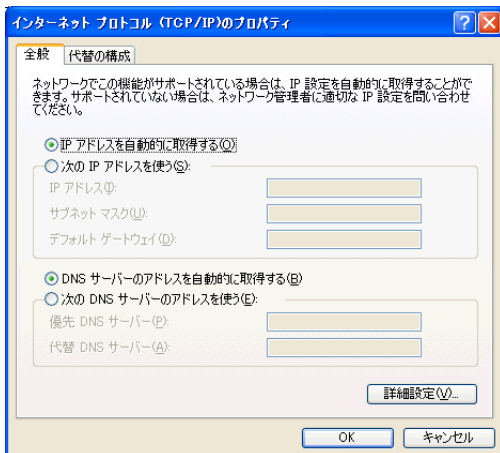
■TCP/IP の設定

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。
- 3 「ネットワーク接続」をクリックします。
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。
- 4 一覧から「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。
- 5 「全般」タブをクリックします。
- 6 次のように操作します。



「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。

7 IP アドレスの設定をします。



接続方法	IP アドレスの設定方法
アドホック接続の場合	IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 「次の IP アドレスを使う」を選択し、「IP アドレス」、「サブネットマスク」を入力します。 「IP アドレスについて」(▶▶ P.70) をご覧になり、IP アドレス、サブネットマスクを設定してください。
インフラストラクチャ接続の場合	「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。 DNS サーバーの設定は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。 IP アドレス、DNS サーバーの設定、およびデフォルトゲートウェイについて、ネットワーク管理者から指示があった場合は、その指示に従ってください。

8 「OK」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面に戻ります。

9 「OK」をクリックします。

POINT

▶設定を変更した場合は「閉じる」に変わります。「閉じる」をクリックしてください。

10 「ネットワーク接続」画面を閉じます。

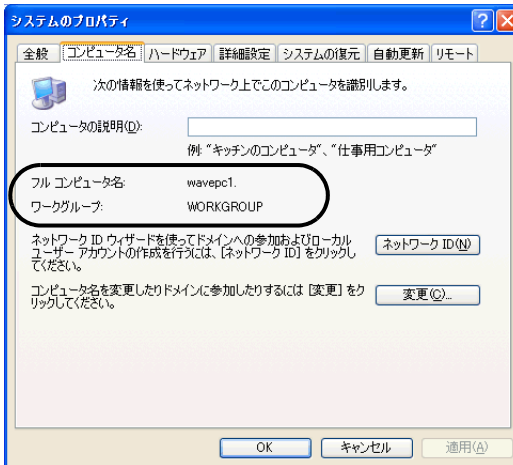
続いてフル コンピュータ名、ワークグループ名の確認を行います。

■フル コンピュータ名、ワークグループ名の確認

POINT

▶フルコンピュータ名、ワークグループ名を変更する場合は、Windows に「コンピュータの管理者」アカウントまたは「Administrators」グループのメンバーとしてログインしている必要があります。

- 1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。
- 3 「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「コンピュータ名」タブをクリックします。
- 5 「フル コンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。



項目	説明	
フル コンピュータ名	ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、任意の名前を設定できます。半角 15 文字以内で入力してください。 機種名やユーザー名などを設定すると、識別しやすくなります。	
ワークグループ	ネットワークのグループ名です。半角 15 文字以内で入力してください。	
	アドホック接続の場合	同じネットワーク内のパソコンは、すべて同じ名前に設定します。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続したいワークグループ名を設定します。

変更する場合は「変更」をクリックして設定し、画面の指示に従って操作してください。

「システムのプロパティ」画面に戻ります。

6 「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、本装置を再起動してください。

共有設定をする

ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合の設定を行います。共有しない場合は、設定の必要はありません。

共有設定したフォルダ、およびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

■ Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

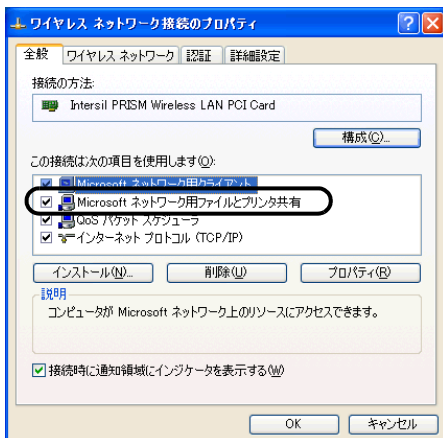
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4 一覧から「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

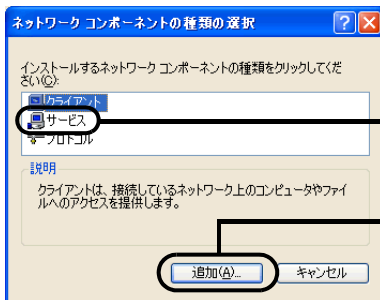
- 5 リストに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されている場合、チェックが付いていることを確認してください。チェックが付いていないときは、 をクリックし、チェックを付けて、「OK」をクリックします。手順 6 以降の操作は不要です。次の「ファイルの共有設定」(▶▶ P.31) へお進みください。

「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合、「インストール」をクリックし、手順 6 以降の操作をします。



インストールをクリックすると、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。

- 6 次のように操作します。

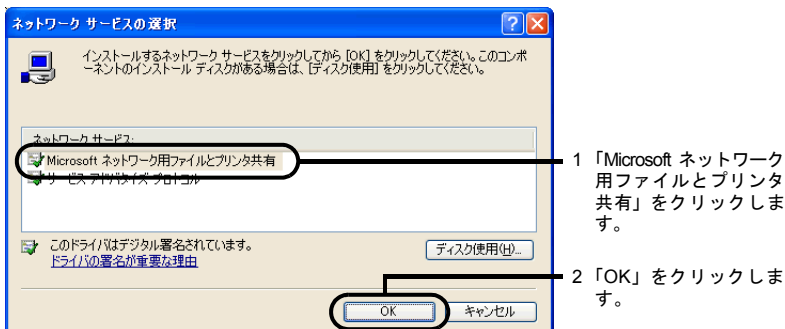


1 「サービス」をクリックします。

2 「追加」をクリックします。

「ネットワークサービスの選択」画面が表示されます。

7 次のように操作します。



「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面に戻り、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が一覧に追加されます。

8 「閉じる」をクリックします。

■ ファイルの共有設定

ここでは、C ドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

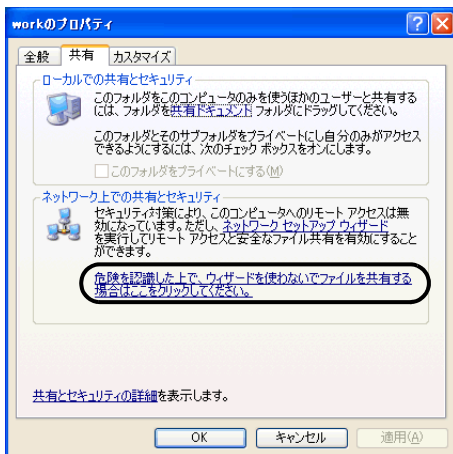
- 1 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
- 2 「ローカルディスク (C:)」をダブルクリックします。
- 3 「work」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有とセキュリティ」をクリックします。

「work のプロパティ」画面が表示されます。ファイルの共有設定を行います。

POINT

- ▶画面上では、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行したファイル共有の設定を推奨していますが、ワイヤレス LAN ネットワークの場合、ネットワーク名 (SSID) やネットワークキーによってセキュリティが守られています。ここではネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、簡単にファイルの共有設定を行う方法を説明します。

4 「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。

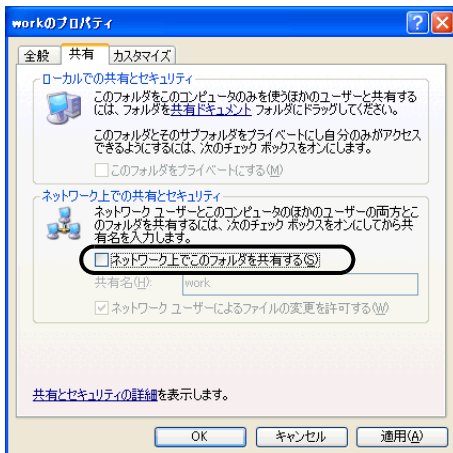


POINT

- ▶すでに「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックしている場合は、この画面は表示されません。手順5へ進んでください。

「work のプロパティ」画面内の「ネットワーク上での共有とセキュリティ」の表示内容が変わります。

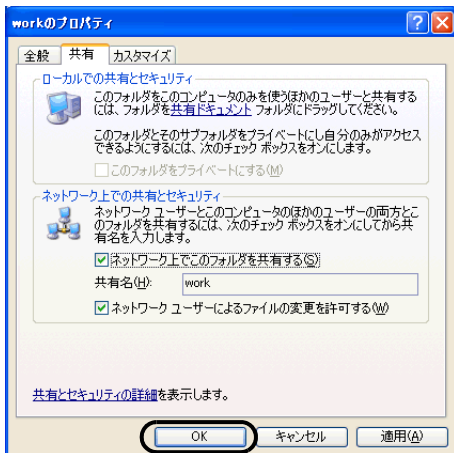
5 「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」にチェックを付けます。



POINT

- ▶共有するフォルダを読み取り専用にする場合は、「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」のチェックボックスを外してください。

6 「OK」をクリックします。



フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンが共有の表示に変わります。

■ プリンタの共有設定

1 「スタート」ボタン→「プリンタとFAX」の順にクリックします。

「プリンタとFAX」画面が表示され、接続されているプリンタが表示されます。

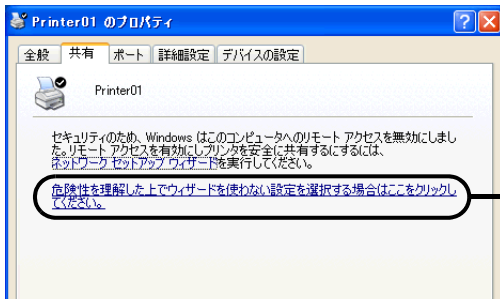
2 共有設定するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

共有設定するプリンタのプロパティ画面が表示されます。プリンタの共有設定を行います。

POINT

▶画面上では、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行したプリンタ共有の設定を推奨していますが、ワイヤレス LAN ネットワークの場合、ネットワーク名 (SSID) やネットワークキーによってセキュリティされています。ここではネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、簡単にプリンタの共有設定を行う方法を説明します。

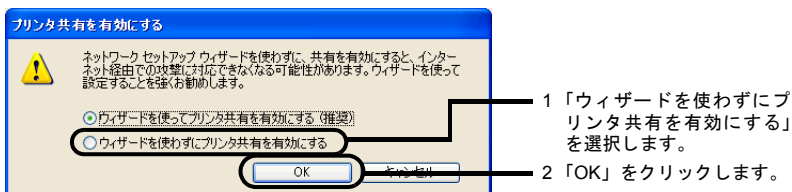
3 次のように操作します。



「危険性を理解した上でウィザードを使わない設定を選択する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。

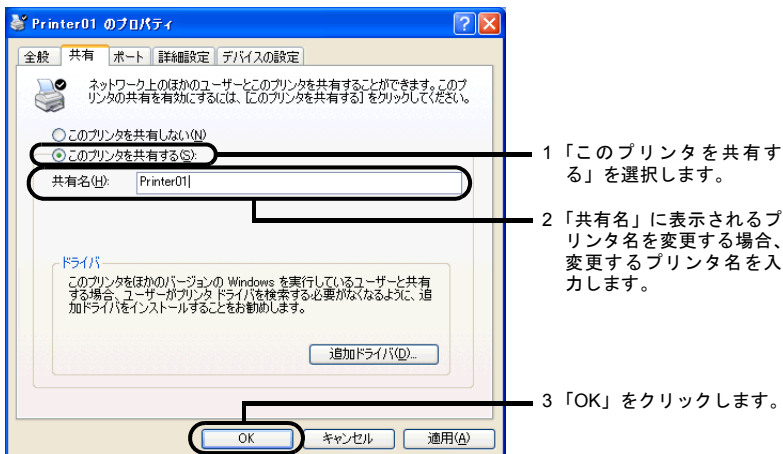
「プリンタ共有を有効にする」画面が表示されます。

4 次のように操作します。



プリンタのプロパティ画面に戻ります。

5 次のように操作します。



プリンタが共有設定され、プリンタのアイコンが共有の表示に変わります。

接続確認をする

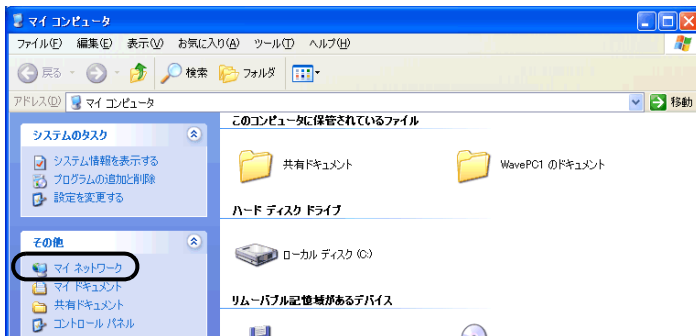
ネットワークの設定ができれば、他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続してみましょう。また、ネットワークに接続できない場合などは、電波の状態を確認してみましょう。

POINT

▶ インフラストラクチャ接続の場合、ステーション側の設定をしてから、接続確認をしてください。ステーション側の設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

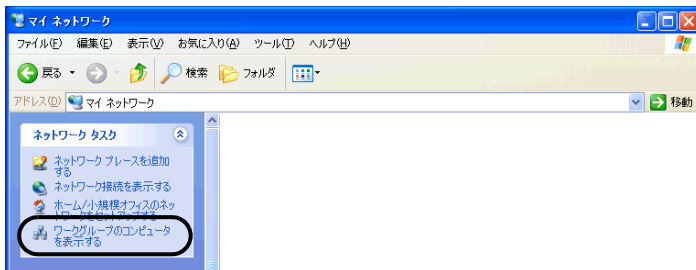
■他のパソコンに接続する

- 1 「スタート」→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
マイコンピュータ画面が表示されます。
- 2 画面左のメニューのその他の一覧から「マイ ネットワーク」をクリックします。

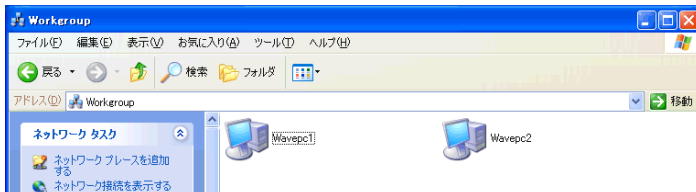


「マイネットワーク」画面が表示されます。

- 3 画面左のメニューのネットワークタスクの一覧から、「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックします。



自分が参加しているワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。



- 4 接続したいパソコンをダブルクリックします。
「パソコンの共有設定」で設定されたフォルダが表示されます。
- 5 接続したいフォルダをダブルクリックします。
フォルダの内容が表示され利用可能になります。

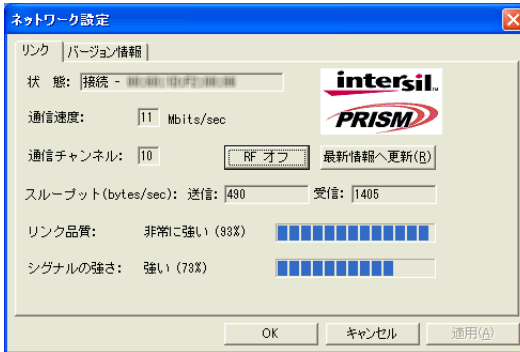
■ 電波の状態を確認する

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 「リンク」タブの画面で電波の状態を確認します。

現在の接続状況が表示されます。



項目	説明
状態	現在の接続状態が表示されます。 インフラストラクチャ接続ができている場合は、現在接続しているステーションの MAC アドレスが表示されます。アドホック接続時も値が表示されますが、接続しているアドホック接続クライアントの MAC アドレスではありません。
通信速度	現在の通信速度が、Mbits/sec 単位で表示されます。
通信チャンネル	現在通信に使用しているチャンネルが表示されます。
「RF オフ」 / 「RF オン」 ボタン	「RF オフ」をクリックすると、電波を停止します。 電波の停止中、「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。
「最新情報へ更新」 ボタン	クリックすると、接続相手を探します。
スループット (bytes/sec)	実際の通信データの転送速度を、送信、受信それぞれについて表示します。
リンク品質	リンク品質により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。
シグナルの強さ	電波の強度により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。

ネットワークに接続できない場合や、接続確認をしたい場合などは、「困ったときは・・・」(●▶ P.62)をご覧ください。

3

第 3 章

Windows 2000/98 での接続

Windows 2000/98 がインストールされたパソコンで、ワイヤレス LAN 接続をするための設定を行います。

1 作業の流れ	38
2 ワイヤレス LAN 接続のための準備	39
3 ネットワークへの接続 (Windows 2000)	44
4 ネットワークへの接続 (Windows 98)	53

1 作業の流れ

本装置を使って、ワイヤレス LAN 接続を行う手順は、次のとおりです。

1 ワイヤレス LAN 接続に必要なパラメータを設定します。

1. ワイヤレス LAN ネットワーク環境の設定
2. 通信データを暗号化するための設定
「パラメータを設定する」(●▶ P.39)

2 ネットワーク接続の設定をします。

1. プロトコルの設定とネットワークの確認
2. ファイルやプリンタの共有設定
3. ステーション側の設定（インフラストラクチャ接続の場合）
ステーションのマニュアルをご覧ください。
4. 接続確認
 - Windows 2000
「ネットワークへの接続（Windows 2000）」(●▶ P.44)
 - Windows 98
「ネットワークへの接続（Windows 98）」(●▶ P.53)

2 ワイヤレス LAN 接続のための準備

本装置を利用するために必要な準備（パラメータの設定）について説明します。

重要

- ▶ Windows 2000/98 では、パソコン本体に搭載できる LAN デバイスは1台のみです。他の LAN デバイスを取り付けしないでください。

パラメータを設定する

ワイヤレス LAN 接続を行うために必要な、ネットワーク名 (SSID)、使用チャンネル、ネットワークキーなどを設定します。ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

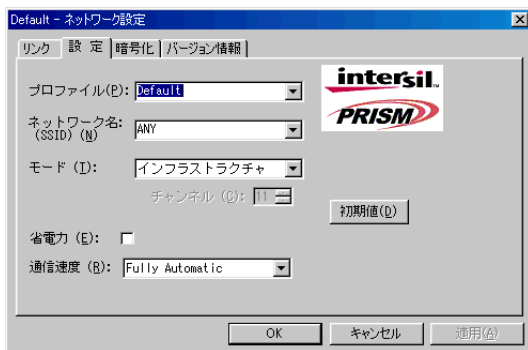
POINT



- ▶ アドホック接続しているパソコンのチャンネルを変更する場合は、同じネットワーク名 (SSID) で接続しているすべてのパソコンのチャンネルを同時に変更してください。変更後は、すべてのパソコンの電源を切り、電源の入っているパソコンがないことを確認してから、電源を入れてください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 ワイヤレス LAN ネットワーク環境を設定します。



項目	説明	
プロファイル	<p>設定するパラメータ情報を保存するシステムファイルの名前を入力します。半角英数字 60 文字以内で、任意の文字列を入力してください。</p> <p>プロファイルは、アドホック接続・インフラストラクチャ接続合わせて、5 個まで設定できます。接続するワイヤレス LAN ネットワークが複数ある場合に、プロファイルによって使い分けことができます。</p>	
ネットワーク名 (SSID)	<p>接続したいネットワーク名を、半角英数字 32 文字以内で入力します。必ず入力してください。「ANY」は選択しないでください。</p>	
	アドホック接続の場合	<p>接続するすべてのパソコンで、同じ名前を設定します。</p>
	インフラストラクチャ接続の場合	<p>接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定の確認方法については、ステーションのマニュアルをご覧ください。</p>
モード	<p>ワイヤレス LAN ネットワークへの接続方法を指定します。</p>	
	アドホック接続の場合	<p> をクリックして「ad hoc」を選択します。</p>
	インフラストラクチャ接続の場合	<p> をクリックして「インフラストラクチャ」を選択します。</p>
チャンネル	<p>通信に使用するチャンネル (周波数帯) を選択します。</p>	
	アドホック接続の場合	<p>接続するすべてのパソコンで同じ値を選択してください。</p> <p>ネットワーク内に FMV-W181、FMV-JW181 を搭載しているパソコンがある場合は、「10」を選択してください。</p> <p>同一フロア内など、近くに他のワイヤレス LAN ネットワークがある場合は、チャンネルの値を 5 つ離すことをお勧めします。</p> <p>例えば、同一フロア内にワイヤレス LAN ネットワークが 3 つある場合は、1、6、11 のように設定してください。</p>
	インフラストラクチャ接続の場合	<p>設定する必要はありません。</p>
省電力	<p>お使いになれません。</p>	
通信速度	<p>通常は、「Fully Automatic」を選択してください。</p>	

POINT

- ▶「初期値」ボタンをクリックすると、「設定」タブと「暗号化」タブの内容がすべて、インストール直後の内容に戻ります。

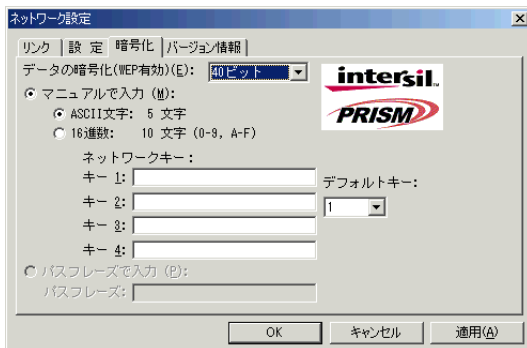
3 入力終了したら、「適用」をクリックします。


4 「暗号化」タブをクリックします。


重要

- ▶ 通信データを暗号化するためのネットワークキーは、必ず設定してください。ネットワークキーを設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載したすべてのパソコンから接続できます。他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする危険性があります。

5 通信データを暗号化するための設定をします。



項目	説明	
データの暗号化 (WEP 有効)		をクリックして、通信データの暗号化の方法を選択します。
	Disable	暗号化を設定しません。
	40 ビット	ネットワークキーを 40 ビットで指定します。「16 進数」または、「ASCII 文字」のいずれかの方法で、ネットワークキーを入力します。 次のパソコン、およびステーションと接続する場合は、「40 ビット」を選択します。 FMV-JW181、FMV-W181 を搭載したパソコン FMWT-201、FMWT-501、FMNS-101+FMNS-WL1
	104 ビット	ネットワークキーを 104 ビットで指定します。「16 進数」「ASCII 文字」のいずれかの方法で、ネットワークキーを入力します。
マニュアルで入力	ネットワークキーを「ASCII 文字」、または「16 進数」で設定します。	

項目	説明				
16進数	<p>ネットワークキー1～4を、16進数のキャラクタコードで入力する 場合に選択します。</p> <p>ネットワーク内に、ネットワークキーをキャラクターコードで設定 するワイヤレス LAN がある場合に、選択してください。</p> <p>ネットワークキー1～4に、設定済みの他のワイヤレス LAN と同 じ値を入力してください。</p> <p>「ネットワークキー」に使用できる文字は、次のとおりです。 0～9、a～f</p> <p>入力例) ネットワークキーを 10 桁で設定する場合、「3132333f38」 のように入力します。</p>				
ASCII 文字	<p>ネットワークキー1～4を、ASCII文字で入力する場合に選択します。 通常は、「ASCII 文字」を選択してください。</p> <p>「データの暗号化 (WEP 有効)」で「40 ビット」を選択した場合は、 5 文字で入力します。「104 ビット」を選択した場合は、13 桁で入力 します。</p> <p>ネットワークキー1～4に使用できる文字は、次のとおりです。 0～9、A～Z、a～z、_ (アンダーバー)</p> <p>ネットワークキーを 40 ビットで入力する場合の入力例) 「ABC12」 に設定する場合、「ABC12」と入力します。</p>				
ネットワー クキー1～4	<p>ネットワークキーを入力します。</p> <p>必要に応じて、4つまで設定することができます。通常は、「キー1」 のみ設定してください。</p> <table border="1" data-bbox="352 778 1002 965"> <tr> <td>アドホック 接続の場合</td> <td>接続するすべてのパソコンで、同じ値を設定してくだ さい。設定方法については、「16進数」、または「ASCII 文字」の項目をご覧ください。</td> </tr> <tr> <td>インフラ ストラクチャ 接続の場合</td> <td>接続するステーションに合わせて設定します。ステー ションの設定の確認方法については、ステーションの マニュアルをご覧ください。</td> </tr> </table>	アドホック 接続の場合	接続するすべてのパソコンで、同じ値を設定してくだ さい。設定方法については、「16進数」、または「ASCII 文字」の項目をご覧ください。	インフラ ストラクチャ 接続の場合	接続するステーションに合わせて設定します。ステー ションの設定の確認方法については、ステーションの マニュアルをご覧ください。
アドホック 接続の場合	接続するすべてのパソコンで、同じ値を設定してくだ さい。設定方法については、「16進数」、または「ASCII 文字」の項目をご覧ください。				
インフラ ストラクチャ 接続の場合	接続するステーションに合わせて設定します。ステー ションの設定の確認方法については、ステーションの マニュアルをご覧ください。				
デフォルト キー	<p>をクリックして、ネットワークキー1～4で入力したどのキー を使うか選択します。キー1を使用する場合は、「1」を選択します。</p> <p>接続するパソコンやステーションによっては、ネットワークキーの 番号が本装置と異なり、0～3になっているものがあります。その 場合、本装置は「1」、接続するパソコンやステーションは「0」に 設定してください。</p>				
パスフレー ズで入力	お使いになれません。				

6 入力が終わったら、「適用」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

「ネットワーク設定」画面が終了します。

8 再起動します。

- Windows 2000 の場合
「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「再起動」をクリックして「OK」をクリックします。
- Windows 98 の場合
「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックし、「再起動する」を選択して「OK」をクリックします。

以上で、パラメータの設定は終了です。

POINT

- ▶ インフラストラクチャ接続で、ADSL (PPPoE) を使用してインターネットに接続する場合は、本装置の MTU サイズ (●▶ P.68) を変更する必要があります。
詳しくは、ステーションのマニュアルをご覧ください。

次に、ネットワークに接続するための設定を行います。
お使いの OS によって操作方法が異なります。次をご覧ください。

- Windows 2000 の場合
「ネットワークへの接続 (Windows 2000)」 (●▶ P.44)
- Windows 98 の場合
「ネットワークへの接続 (Windows 98)」 (●▶ P.53)

3 ネットワークへの接続 (Windows 2000)

Windows 2000 がインストールされたパソコンで、ネットワークに接続する方法について説明します。

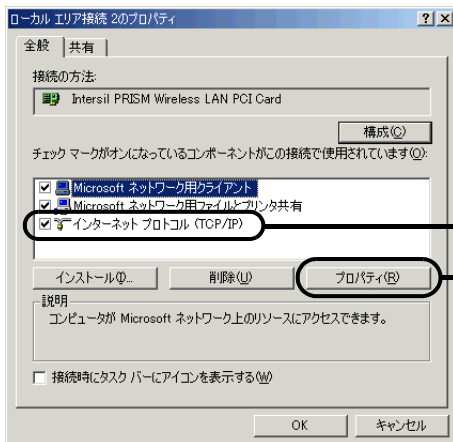
ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークの設定をする

ネットワークの接続に必要な、「TCP/IP の設定」と「フル コンピュータ名、ワークグループ名の確認」を行います。

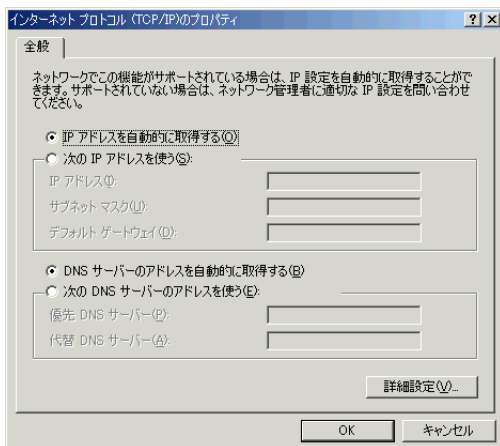
■TCP/IP の設定

- 1 「スタート」 ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックします。「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。
- 4 次のように操作します。



「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が表示されます。

5 IP アドレスの設定をします。



接続方法	IP アドレスの設定方法
アドホック接続の場合	IP アドレスとサブネットマスクを設定します。 「次の IP アドレスを使う」を選択し、「IP アドレス」、「サブネットマスク」を入力します。 「IP アドレスについて」(●▶ P.70) をご覧になり、IP アドレス、サブネットマスクを設定してください。
インフラストラクチャ接続の場合	「IP アドレスを自動的に取得する」を選択します。 DNS サーバーの設定は、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。 IP アドレス、DNS サーバーの設定、およびデフォルトゲートウェイについて、ネットワーク管理者から指示があった場合は、その指示に従ってください。

6 「OK」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。

7 「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、本装置を再起動してください。

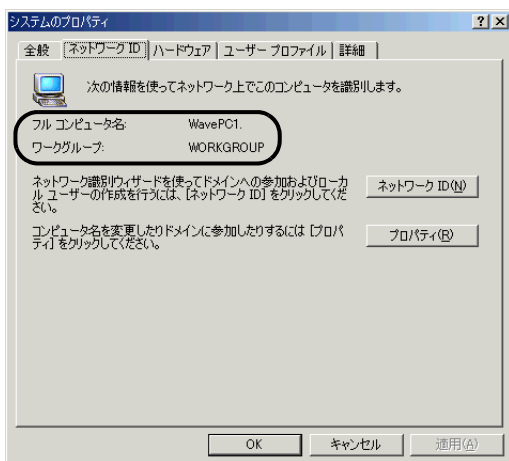
■フル コンピュータ名、ワークグループ名の確認

POINT

- ▶ フルコンピュータ名、ワークグループ名を変更する場合は、Windows に Administrator 権限でログインしている必要があります。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

- 2 「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。
- 3 「ネットワーク ID」タブをクリックします。
- 4 「フルコンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。



項目	説明	
フルコンピュータ名	ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、任意の名前を設定できます。機種名やユーザー名などが設定されていると、識別しやすくなります。	
ワークグループ	ネットワークのグループ名です。	
	アドホック接続の場合	同じネットワーク内のパソコンは、すべて同じ名前に設定します。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続したいワークグループ名を設定します。

変更する場合は「プロパティ」をクリックして設定し、画面の指示に従って操作してください。

「システムのプロパティ」画面に戻ります。

- 5 「OK」をクリックします。
再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、本装置を再起動してください。

共有設定をする

ドライブやフォルダの共有、およびプリンタの共有に必要な設定を行います。
ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合のみ設定します。
共有設定したドライブやフォルダおよびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

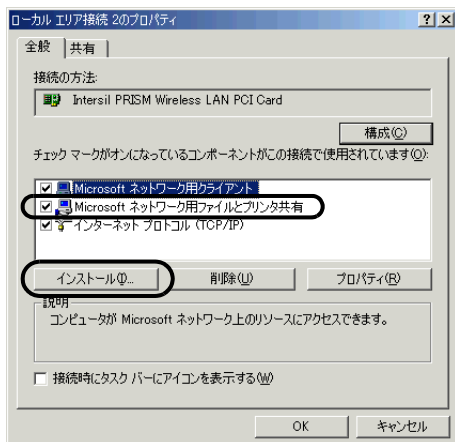
■ Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。
- 3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

POINT

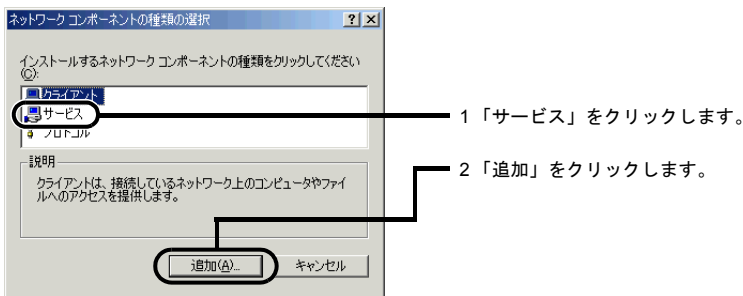
▶「ローカルエリア接続」が複数表示されている場合は、「デバイス名」が「Intersil PRISM Wireless LAN PCI Card」となっている「ローカルエリア接続」を選択してください。

- 4 リストに「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されている場合、チェックが付いていることを確認してください。チェックが付いていないときは、をクリックし、チェックを付けて、「OK」をクリックします。手順 5 以降の操作は不要です。次の「ファイルの共有設定」(▶▶ P.48)へお進みください。
「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合、「インストール」をクリックし、手順 5 以降の操作をします。



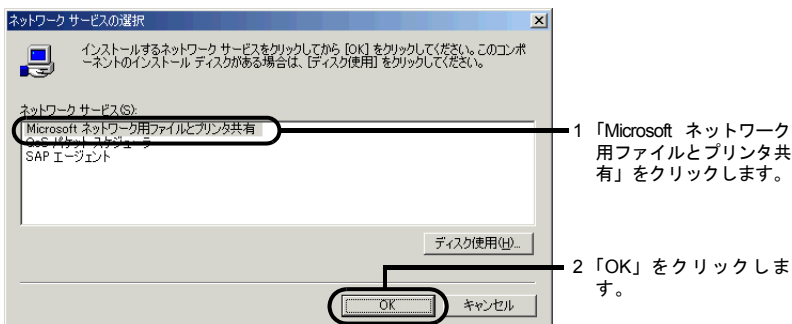
「インストール」をクリックすると、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。

5 次のように操作します。



「ネットワークサービスの選択」画面が表示されます。

6 次のように操作します。



「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻り、一覧に「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が追加されます。

7 「OK」をクリックします。

POINT

▶ 設定を変更した場合は「閉じる」に変わります。「閉じる」をクリックしてください。

■ ファイルの共有設定

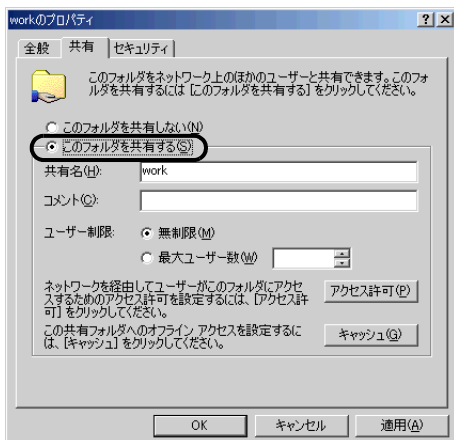
ここでは、C ドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

1 デスクトップ画面の「マイコンピュータ」→「ローカルディスク (C:)」の順にダブルクリックします。

2 「work」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

「work のプロパティ」画面が表示されます。

3 「このフォルダを共有する」を選択し、必要な項目を設定します。



項目	説明
共有名	共有するフォルダの共有名を設定できます。
コメント	共有するフォルダの説明を入力します。
ユーザー制限	共有するユーザー数の制限を設定します。
アクセス許可	フォルダに対するアクセス権を設定します。
キャッシュ	フォルダのキャッシュを設定します。

4 「OK」をクリックします。

フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンの表示が変わります。

■プリンタの共有設定

1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。

プリンタ画面が表示され、接続されているプリンタが表示されます。

2 共有設定するプリンタにカーソルを合わせて右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

共有するプリンタのプロパティ画面が表示されます。

3 「共有する」を選択し、必要な項目を設定します。



項目	説明
共有しない	プリンタの共有を解除します。
共有する	プリンタを共有設定します。 テキストボックスに共有するプリンタの共有名を入力できます。

4 「OK」をクリックします。

プリンタが共有設定され、アイコンの表示が変わります。

接続確認をする

ネットワークの設定ができれば、他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続し、ワイヤレス LAN ネットワークへの接続状態を確認してみましょう。

POINT

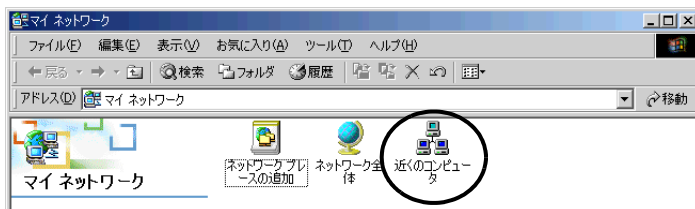
▶ インフラストラクチャ接続の場合、ステーション側の設定をしてから、接続確認をしてください。ステーション側の設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

■他のパソコンに接続する

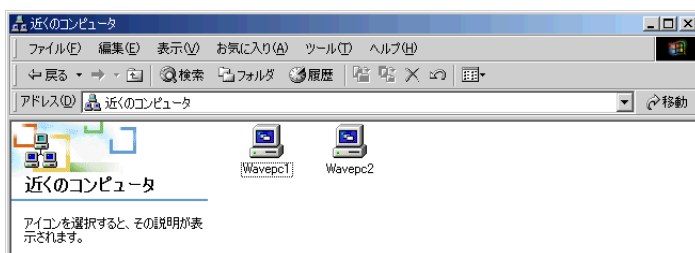
1 デスクトップ画面の「マイ ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

「マイネットワーク」画面が表示されます。

2 「近くのコンピュータ」をダブルクリックします。



ネットワークに接続されているパソコンが表示されます。



3 接続したいパソコンをダブルクリックします。

「パソコンの共有設定」で設定されたフォルダが表示されます。

4 接続したいフォルダをダブルクリックします。

フォルダの内容が表示され、利用可能になります。

■電波の状態を確認する

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 「リンク」タブの画面で、電波の状態を確認します。

現在の接続状況が表示されます。



項目	説明
状態	現在の接続状態が表示されます。 インフラストラクチャ接続ができている場合は、現在接続しているステーションの MAC アドレスが表示されます。アドホック接続時も値が表示されますが、接続しているアドホック接続クライアントの MAC アドレスではありません。
通信速度	現在の通信速度が、Mbits/sec 単位で表示されます。
通信チャンネル	現在通信に使用しているチャンネルが表示されます。
「RF オフ」 / 「RF オン」 ボタン	「RF オフ」をクリックすると、電波を停止します。 電波の停止中、「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。
「最新情報へ更新」 ボタン	クリックすると、接続相手を探します。
スループット (bytes/sec)	実際の通信データの転送速度を、送信、受信それぞれについて表示します。
リンク品質	リンク品質により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。
シグナルの強さ	電波の強度により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。

ネットワークに接続できない場合や、接続確認をしたい場合などは、「困ったときは・・・」(●▶ P.62)をご覧ください。

4 ネットワークへの接続 (Windows 98)

Windows 98 がインストールされたパソコンで、ネットワークに接続する方法について説明します。

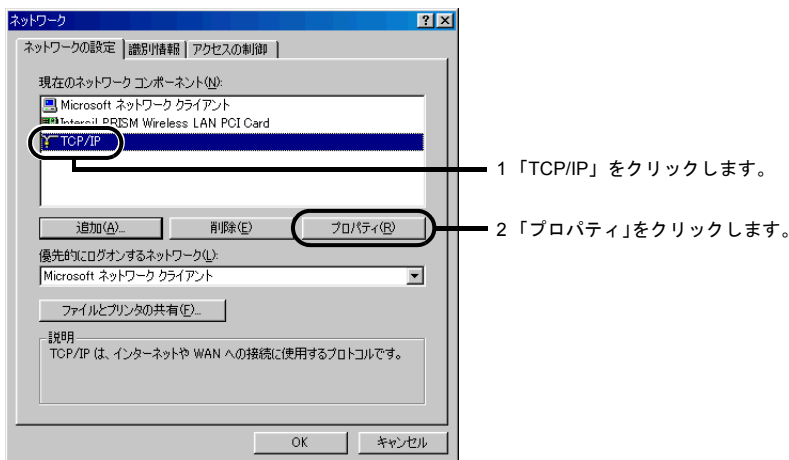
ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークの設定をする

ネットワークの接続に必要な、「TCP/IP の設定」と「コンピュータ名、ワークグループ名の確認」を行います。

■ TCP/IP の設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 3 次のように操作します。

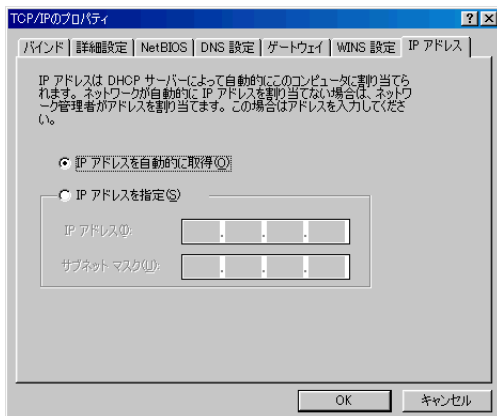


POINT

- ▶ 「TCP/IP・・・」の表示が複数ある場合は、「TCP/IP -> InterSil PRISM Wireless LAN PCI Card」を選択してください。

「TCP/IP のプロパティ」画面が表示されます。

4 IP アドレスの設定をします。



接続方法	IP アドレスの設定方法
アドホック接続の場合	「IP アドレスを指定」を選択し、「IP アドレス」、「サブネットマスク」を入力します。 「IP アドレスについて」(●▶ P.70) をご覧になり、IP アドレス、サブネットマスクを設定してください。
インフラストラクチャ接続の場合	「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。 IP アドレスやサブネットマスクについて、ネットワーク管理者から指示があった場合は、その指示に従ってください。

5 「OK」をクリックします。

「ネットワーク」画面に戻ります。

再起動のメッセージが表示された場合、「はい」をクリックし、本装置を再起動してください。

続いてコンピュータ名、ワークグループ名の確認を行います。

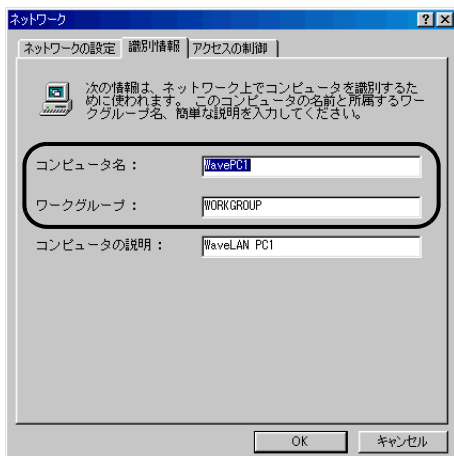
■ コンピュータ名、ワークグループ名の確認

1 「ネットワーク」画面の「識別情報」タブをクリックします。

POINT

- ▶ 「ネットワーク」画面が表示されていない場合は、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

2 「コンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。



項目	説明	
コンピュータ名	ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、任意の名前を設定できます。半角 15 文字以内で入力してください。機種名やユーザー名などを設定すると、識別しやすくなります。	
ワークグループ	ネットワークのグループ名です。半角 15 文字以内で入力してください。	
	アドホック接続の場合	同じネットワーク内のパソコンは、すべて同じ名前に設定します。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続したいワークグループ名を設定します。
コンピュータの説明	コンピュータの補足説明です。省略できます。	

重要

▶ピリオドなど、特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

3 「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、本装置を再起動してください。

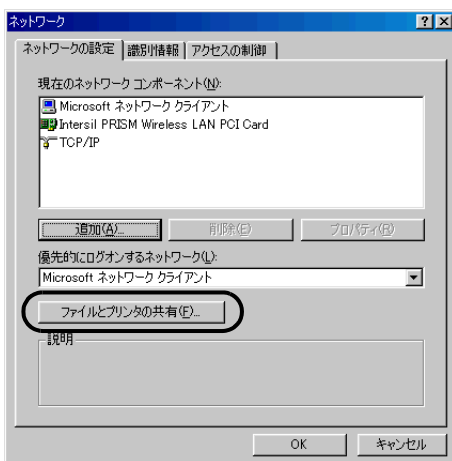
共有設定をする

ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合の設定を行います。共有しない場合は、設定の必要はありません。

共有設定したフォルダ、およびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

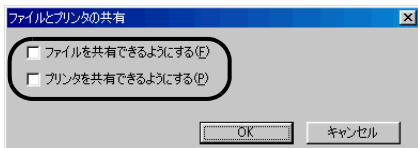
■ Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
- 2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワーク」画面が表示されます。
- 3 「ファイルとプリンタの共有」をクリックします。



「ファイルとプリンタの共有」画面が表示されます。

- 4 共有するサービスにチェックを付けます。



- 5 「OK」をクリックします。

「ネットワークの設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」の一覧に、「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されます。

6 「OK」をクリックします。

コントロールパネル画面が終了します。画面の指示に従って操作してください。
再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、システムを再起動してください。

■ ファイルの共有設定

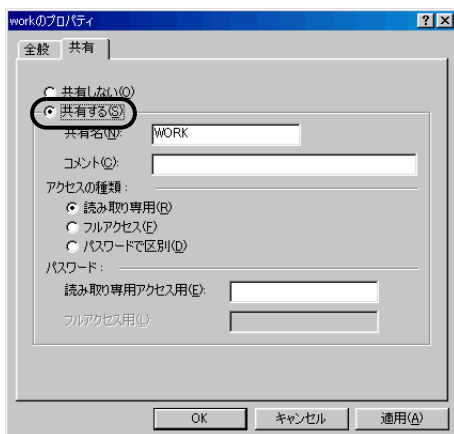
ここでは、Cドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

1 デスクトップ画面の「マイ コンピュータ」アイコン→「(C:)」の順にダブルクリックします。

2 「work」フォルダを右クリックして、表示されるメニューから「共有」をクリックします。

「workのプロパティ」画面が表示されます。

3 「共有する」を選択し、必要な項目を設定します。



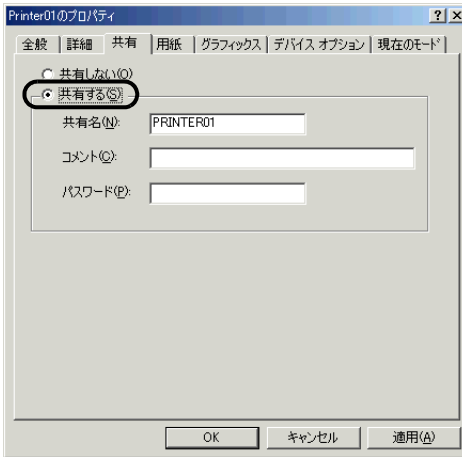
項目	説明
共有名	共有するフォルダの共有名を設定できます。
アクセスの種類	共有するフォルダに対しての読み書きの許可を制限します。
読み取り専用	共有するフォルダを読み取り専用にします。
フルアクセス	共有するフォルダの読み書きを許可します。
パスワードで区別	パスワードによって、「読み取り専用」と「フルアクセス」の許可を区別します。
パスワード	「アクセス権の種類」に対するパスワードです。
読み取り専用	読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
フルアクセス	読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

4 「OK」をクリックします。

フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンが共有の表示に変わります。

■ プリンタの共有設定

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
「プリンタ」画面が表示され、接続されているプリンタが表示されます。
- 2 共有設定するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。
共有するプリンタのプロパティ画面が表示されます。
- 3 「共有する」を選択し、必要な項目を設定します。



項目	説明
共有しない	プリンタの共有を解除します。
共有する	プリンタを共有設定します。
共有名	共有するプリンタの共有名を変更できます。
コメント	共有するプリンタの説明を入力します。
パスワード	パスワードを設定します。パスワードを設定すると、プリンタを使用するときにパスワードの入力が必要になります。

- 4 「OK」をクリックします。
プリンタが共有設定され、プリンタのアイコンが共有の表示に変わります。

接続確認をする

ネットワークの設定ができれば、他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続してみましよう。また、ネットワークに接続できない場合などは、電波の状態を確認してみましよう。

POINT

▶ インフラストラクチャ接続の場合、ステーション側の設定をしてから、接続確認をしてください。ステーション側の設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

■ 他のパソコンに接続する

1 デスクトップ画面の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

ネットワークに接続しているパソコンが表示されます。



2 接続したいパソコンをダブルクリックします。

「パソコンの共有設定」で設定されたフォルダが表示されます。

3 接続したいフォルダをダブルクリックします。

フォルダの内容が表示され、利用可能になります。

■ 電波の状態を確認する

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 「リンク」タブの画面で、電波の状態を確認します。

現在の接続状況が表示されます。



項目	説明
状態	現在の接続状態が表示されます。 インフラストラクチャ接続ができている場合は、現在接続しているステーションの MAC アドレスが表示されます。アドホック接続時も値が表示されますが、接続しているアドホック接続クライアントの MAC アドレスではありません。
通信速度	現在の通信速度が、Mbits/sec 単位で表示されます。
通信チャンネル	現在通信に使用しているチャンネルが表示されます。
「RF オフ」 / 「RF オン」 ボタン	「RF オフ」をクリックすると、電波を停止します。 電波の停止中、「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。
「最新情報へ更新」 ボタン	クリックすると、接続相手を探します。
スループット (bytes/sec)	実際の通信データの転送速度を、送信、受信それぞれについて表示します。
リンク品質	リンク品質により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。
シグナルの強さ	電波の強度により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。

ネットワークに接続できない場合や、接続確認をしたい場合などは、「困ったときは・・・」(●▶ P.62)をご覧ください。

4

第4章 付 録

1 困ったときは・・・	62
2 用語集	67
3 IP アドレスについて	70

1 困ったときは・・・

本装置をお使いになっていて、トラブルが発生した場合の原因と対処方法を記載しています。該当する項目をご覧ください。

デバイスマネージャの画面で、ワイヤレス LAN に「！」マークや「×」マークがついている

- ・ デバイスマネージャの画面で、Intersil PRISM Wireless LAN PCI Card に「！」マークや「×」マークがついています。

■ 原因

ワイヤレス LAN の認識に失敗している。

■ 対策

本装置を再起動してください。

ネットワークに接続できない

- ・ 「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されないか、表示されても接続できません。
- ・ インフラストラクチャ接続で、ステーションに接続できません。

■ 原因 1

ネットワーク名 (SSID)、またはネットワークキーが正しくない。

■ 対策 1

アドホック接続の場合、接続するすべてのパソコンで、ネットワーク名 (SSID)、およびネットワークキーを同じ値に設定してください。

インフラストラクチャ接続の場合、ネットワーク名 (SSID)、およびネットワークキーを、ステーションと同じ値に設定してください。

設定方法は、次をご覧ください。

- ・ Windows XP
「パラメータを設定する」(▶▶ P.19)
- ・ Windows 2000/98
「パラメータを設定する」(▶▶ P.39)

■ 原因 2

電波の状態が悪いため、電波が届かない。

■ 対策 2

アドホック接続の場合、接続相手のパソコンとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。

インフラストラクチャ接続の場合、ステーションとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。

電波の状態を確認する場合は、次をご覧ください。

- Windows XP
「電波の状態を確認する」(▶▶ P.36)
- Windows 2000
「電波の状態を確認する」(▶▶ P.51)
- Windows 98
「電波の状態を確認する」(▶▶ P.59)

■ 原因 3

接続先のパソコンの電源が入っていない。

■ 対策 3

接続先のパソコンの電源が入っているか、確認してください。

■ 原因 4

同一フロア内などで複数のワイヤレス LAN ネットワークがある場合、使用するチャンネルが重なっている。

■ 対策 4

近くに他のワイヤレス LAN ネットワークがある場合は、使用するチャンネルが重ならないようにチャンネルを変更してください。使用中のチャンネルの確認方法は、次をご覧ください。

- Windows XP
「電波の状態を確認する」(▶▶ P.36)
- Windows 2000
「電波の状態を確認する」(▶▶ P.51)
- Windows 98
「電波の状態を確認する」(▶▶ P.59)

■ 原因 5

接続先のネットワークにアクセスする権限がない。

■ 対策 5

接続先のネットワークに、アクセスする権限があるか確認してください。

■ 原因 6

ステーションに設定されているチャンネルが、本装置の使用可能チャンネル外になっている。

■ 対策 6

ステーションのチャンネルを、1～11の間で設定してください。設定方法については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

■ 原因 7

ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるまでに時間がかかっている。

■ 対策 7

次の手順でコンピュータの検索をしてください。

- Windows XP の場合
 1. 「スタート」ボタン→「検索」の順にクリックします。
 2. 「コンピュータまたは人」をクリックします。
 3. 「ネットワーク上のコンピュータ」をクリックします。
 4. 「コンピュータ名」に接続先のコンピュータ名を入力して、「検索」をクリックします。
 5. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックします。
- Windows 2000 の場合
 1. 「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」の順にクリックします。
 2. 「ほかの項目を検索」の「コンピュータ」をクリックします。
 3. 「コンピュータ名」に接続先のコンピュータ名を入力して、「検索開始」をクリックします。
 4. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックします。
- Windows 98 の場合
 1. 「スタート」ボタン→「検索」→「ほかのコンピュータ」の順にクリックします。
 2. 「名前」に接続先のコンピュータ名を入力して、「検索開始」をクリックします。
 3. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックします。

■ 原因 8

ネットワークの設定が正常にできていない。

■ 対策 8

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。確認方法は、次をご覧ください。

- Windows XP
「ネットワークへの接続」 (**▶ P.26)
- Windows 2000
「ネットワークへの接続 (Windows 2000)」 (**▶ P.44)
- Windows 98
「ネットワークへの接続 (Windows 98)」 (**▶ P.53)

■ 原因 9

お使いのプロトコルが TCP/IP ではない。または IP アドレスの設定が正しくない。

■ 対策 9

お使いのプロトコルが TCP/IP か確認してください。

- Windows XP
「ネットワークの設定をする」 (**▶ P.26)
- Windows 2000
「ネットワークの設定をする」 (**▶ P.44)
- Windows 98
「ネットワークの設定をする」 (**▶ P.53)

お使いのプロトコルが TCP/IP の場合は、次の手順で IP アドレスを確認できます。

1 次のように操作します。

- Windows XP の場合、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- Windows 98 の場合、「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。

2 コマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプト画面で、次のように「IPCONFIG」コマンドを入力し、【Enter】キーを押します。

例：C ドライブがハードディスクの場合

```
C:¥>ipconfig 【Enter】
```

IP アドレスが正常に表示されているか確認してください。

- Windows XP/2000 の場合の表示例

```
IP Address. . . . . : 10.0.1.3
Subnet Mask. . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway. . . . . : 10.0.1.1
```

- Windows 98 の場合の表示例

```
IP アドレス. . . . . : 10.0.1.3
サブネットマスク. . . . . : 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ. . . . . : 10.0.1.1
```

POINT

- ▶ IP アドレスが「169.254.XXX.YYY」または「0.0.0.0」と表示される場合、ステーションから IP アドレスが正常に取得できていません。本装置を再起動してください。それでも表示される場合は、TCP/IP の設定を確認してください。
- ▶ IP アドレスが表示されず、「Cable Disconnected」または「Media Disconnected」と表示される場合、ネットワーク名 (SSID) とネットワークキーの設定を確認してください。

■ 原因 10

Windows 98 を起動したときにパスワードを入力していない。ユーザー名、およびパスワードの入力画面で「キャンセル」をクリックしたり、【ESC】キーを押している。

■ 対策 10

Windows 98 を起動したときに表示されるユーザー名、およびパスワードの入力画面では、必ずユーザー名とパスワードを入力して「OK」をクリックしてください。
パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されません。

PING コマンドを実行して、接続確認をしたい

■ 対策

次の手順で PING コマンドを実行して、IP パケットが通信先に正しく届いているかを確認します。

POINT

▶ PING コマンドを実行するには、TCP/IP プロトコルをインストールしておく必要があります。

1 次のように操作します。

- Windows XP の場合、「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
- Windows 98 の場合、「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。

2 コマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプト画面で、次のように ping コマンドを入力します。

例：C ドライブがハードディスク、通信先の IP アドレスが 10.0.1.3 の場合

```
C:¥>ping 10.0.1.3 【Enter】
```

正常に接続できている場合は、次のように表示されます。

```
Pinging 10.0.1.3 with 32 bytes of data:  
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time=1ms TTL=32  
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=32  
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time=4ms TTL=32  
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

接続できていない場合は、「Request timed out」「Destination host unreachable」などと表示されます。そのときは「ネットワークに接続できない」(●▶ P.62)をご覧ください。

2 用語集

■ DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

IPアドレスなどの通信に関するパラメータを自動取得するために使用するプロトコルです。IPアドレスを与える側をDHCPサーバー、IPアドレスを与えられる側をDHCPクライアントと呼びます。

■ DNS (Domain Name System)

パソコンに割り当てたIPアドレスと名前の対応を管理する機能です。IPアドレスがわからないパソコンでも名前がわかっているならば、そのパソコンと通信できます。

■ IEEE802.11b

LANなどの標準化を推進する米国のIEEE (Institute of Electrical and Electronic Engineers) の委員会にて、伝送速度1Mbpsまたは2MbpsのワイヤレスLANは標準化推進委員会としてIEEE802.11が進めてきました。現在、さらなる高速化を進めた伝送速度11Mbpsの高速ワイヤレスLANの標準化委員会として、このIEEE802.11bが標準化を進めています。

■ IP アドレス

TCP/IP環境で、パソコンが通信するために使用するアドレスです。現在使用されているIPv4 (バージョン4) では、1から255までの、4個の数値で表します。(例: 192.168.100.123)
また、IPアドレスには、グローバルアドレスとプライベートアドレスがあります。グローバルアドレスは、世界でただひとつのアドレスです。国内では、JPNIC (日本ネットワークインフォメーションセンター) により管理されています。プライベートアドレスは、閉じたネットワークの中でひとつのアドレスです。

■ LAN (Local Area Network)

同一フロアやビルなどの比較的狭い範囲で、コンピュータ同士を接続した環境を言います。

■ MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードに固有の物理アドレスです。Ethernetならバイト長で、先頭の3バイトはベンダコードとしてIEEEが管理/割り当てを行っています。残り3バイトは各ベンダで独自に(重複しないように)管理しているコードなので、結果として、世界中で同じ物理アドレスを持つEthernetカードは存在せず、すべて異なるアドレスが割り当てられていることとなります。Ethernetではこのアドレスを元にフレームの送受信を行っています。

■ MTU (Maximum Transmission Unit)

インターネットなどのネットワーク上で、一度に転送可能な最大データサイズのことです。最大データサイズが大きすぎてデータが正しく通信できない環境などでは、MTUのサイズを小さく設定することにより正常に通信できるようになります。

■ PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet)

電話回線接続で使用する認証プロトコル (PPP) を、Ethernet 上で使用するための方式です。

■ TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。

■ Wi-Fi

ワイヤレス LAN の互換性接続を保証する団体「WECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance)」の相互接続性テストを合格していることを示します。

■ アドホック

ワイヤレス LAN ネットワーク構成の呼び名です。ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコンだけで通信を行う形態を言います。詳しくは、「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」 (**▶ P.10) をご覧ください。

■ インフラストラクチャ

ワイヤレス LAN ネットワーク構成の呼び名です。ステーションを使用して通信を行う形態を言います。詳しくは、「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」 (**▶ P.11) をご覧ください。

■ サブネットマスク

TCP/IP ネットワークは、複数の小さなネットワーク (サブネット) に分割されて管理されます。IP アドレスは、そのサブネットのアドレスと、個々のコンピュータのアドレスから構成されています。IP アドレスの何ビットがサブネットのアドレスかを定義するのが、サブネットマスクです。通信を行うパソコン同士で、同じ値を設定します。

■ プロトコル

パソコン間でのデータの受け渡しを行うための手順や規則です。データの送受信方法、通信エラー時の処理など、通信を行うために必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達が行えます。

■ チャンネル

ワイヤレス LAN やステーションで通信するために使用する、ワイヤレス LAN の周波数帯を表します。

■ ネットワークキー

データ通信を行う際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。
本装置はデータの暗号化／復号化ともに同一のネットワークキーを用いるため、通信する相手と同一のネットワークキーを設定する必要があります。

■ ネットワーク名 (SSID : Security Set Identifier)

ワイヤレス LAN ネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「ネットワーク名 (SSID)」で行います。さらにセキュリティ強化のためにネットワークキーを設定し、「ネットワーク名 (SSID)」とネットワークキーが一致しないと通信できないようになっています。

3 IP アドレスについて

IP アドレスの設定がわからない場合は、以下を参考にして、IP アドレスを設定してください。

■ ネットワーク上にステーション (DHCP サーバー) が存在する場合

- Windows XP の場合、IP アドレスを設定する画面 (●▶ P.27) で、「IP アドレスを自動的に取得する」に設定します。
- Windows 2000 の場合、IP アドレスを設定する画面 (●▶ P.45) で、「IP アドレスを自動的に取得する」に設定します。
- Windows 98 の場合、IP アドレスを設定する画面 (●▶ P.54) で、「IP アドレスを自動的に取得」に設定します。

POINT

▶ DHCP サーバーとは、ネットワーク上のパソコンなどに IP アドレスを自動的に割り振るサーバーです。アドホック接続では、DHCP サーバーは存在しません。

■ ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

ネットワーク管理者に設定する IP アドレスを確認してください。

■ ネットワーク上にステーションが存在しない場合

IP アドレスは、1 から 255 までの、4 個の数値で表します。
各パソコンに次のように設定します。() 内はサブネットマスクです。

<設定例>

パソコン A : 192.168.100.2 (255.255.255.0)

パソコン B : 192.168.100.3 (255.255.255.0)

パソコン C : 192.168.100.4 (255.255.255.0)

:

:

パソコン X : 192.168.100.254 (255.255.255.0)

FMV-LIFEBOOK
ワイヤレス LAN をお使いになる方へ

B5FH-4981-01 Z2-00

発行日 2002年1月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU